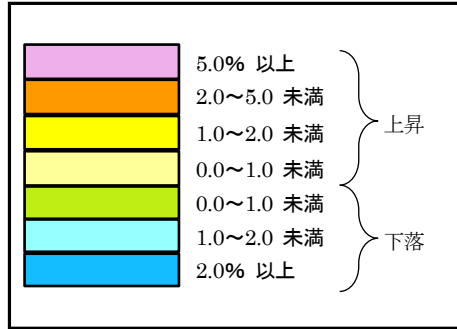


大阪圏の住宅地

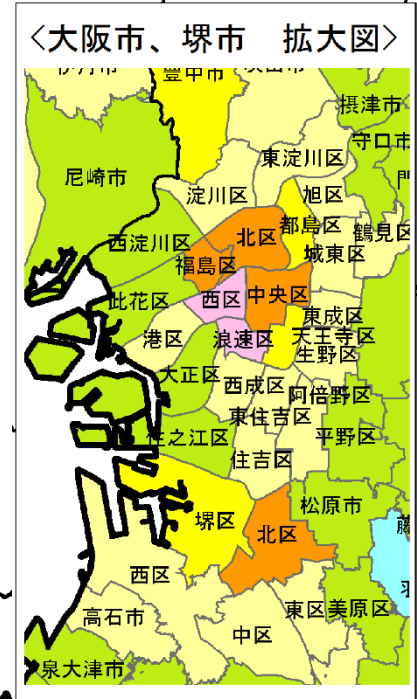
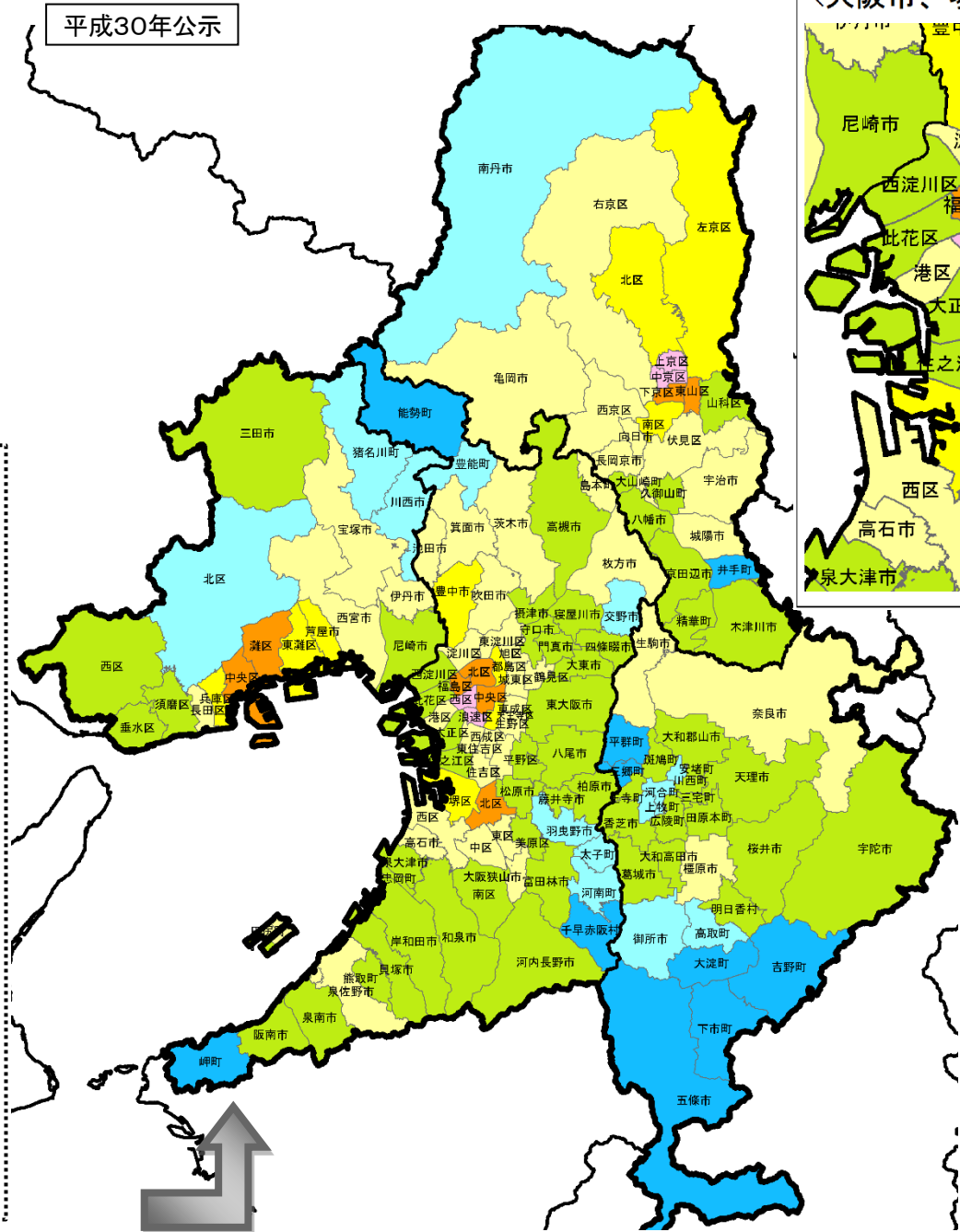
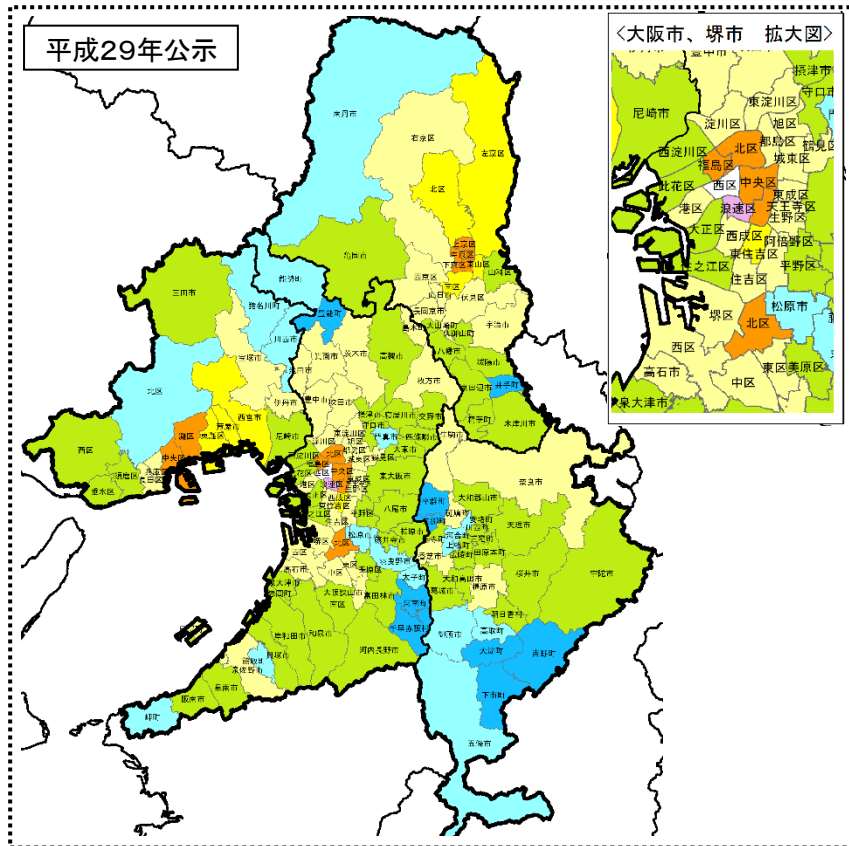
※（ ）は前年変動率

京 都 府	<ul style="list-style-type: none">○ 京都市では、1.3%上昇(0.8%上昇)。・ ほとんどの区で上昇した。・ 市内中心部の上京区、中京区、東山区等では、住宅需要のほか、宿泊施設需要も競合し、上昇幅が昨年より拡大している。
大 阪 府	<ul style="list-style-type: none">○ 大阪市では、0.6%上昇(0.5%上昇)。・ 市内中心部のマンション素地需要は堅調に推移し、地価上昇を牽引している。○ 堺市では、1.2%上昇(0.6%上昇)。・ 利便性の高い駅周辺を中心に住宅需要が高まっている。○ 泉佐野市では、関西国際空港の関係者による住宅需要が堅調で、上昇が続いている。
兵 庫 県	<ul style="list-style-type: none">○ 神戸市では、0.3%上昇(0.2%上昇)。・ 東部3区(灘区、東灘区、中央区)を中心に、市内中心部へのアクセスに優れ、最寄駅に近い交通利便性に優れた地域の住宅需要は堅調である。
奈 良 県	<ul style="list-style-type: none">○ 奈良市では、0.4%上昇(0.5%上昇)。・ 大阪や京都へ通勤可能な駅徒歩圏の住宅地では、上昇が続いている。○ 同様に、大阪への交通アクセスに優れた橿原市や生駒市においても、上昇が続いている。

市区町村別の状況（大阪圏・住宅地）



※変動率0.0%の場合、小数点第2位以下の数値を考慮し、色分けをしている。



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。